

活動名：石川義塾中学校トレーニングマッチ

日程：令和2年11月21日（土）

会場：石川町 山形寮グラウンド

参加：5年生 5名、6年生 5名 合計 10名

帯同：大森コーチ、佐藤コーチ

報告：佐藤

今回石川義塾中学校の部員の出身チームということで、声をかけていただきトレーニングマッチを行いましたので、報告させていただきます。

このトレーニングマッチが決まった後でしたが、高校サッカー選手権において高校サッカー部のみなさんが見事初優勝を飾りその中でアーレOBの佐々木楽人くんも在籍して決勝の舞台でも活躍していましたので、アーレの選手・保護者の皆さんにおきましても非常に興味のあるところだったかと思います。トレーニングマッチを行った場所も普段高校生たちもトレーニングを行っている山形寮グラウンド（人工芝）で行いました。

はじめに、せっかくの機会でしたので選手・父兄のみなさんに義塾中学校サッカー部の育成理念やトレーニングスケジュールなどを含めた説明会を行いました。自分たちの一つ上のカテゴリーの情報や現在の育成の先端である中学から高校年代で一貫した育成をおこなっている私立学校の情報を聞くことができ参考になったかと思います。

その後、ウォーミングアップを兼ねて、中学生と合同でトレーニングを行いました。トレーニング全体の内容は「周りを見ながらプレーする」ということでした。

内容はというと

◇5対1の鬼ごっこ（四角の角が安全地帯）

初めは自分が鬼から逃げるのが精いっぱいだった選手が、周りを見て連携することにより、味方とのスイッチをしてりうまく逃げたりしていて楽しそうに行えました。

◇2人1組でパス交換

ショートパスから距離を伸ばして行いましたが、普段と違う人工芝のグラウンドにてこずっている選手もいました。

◇三角パス

ボールを受ける際の動きや、ボールを受ける前に、次に出す相手を見るということをして

おこないましたが、基礎的なボールの扱いができていて簡単なことでもしっかりできるということが分かったと思います。逆に基礎ができないとつまづいてしまうことも気付いたと思います。



#### ◇4対2（2人ずつ3色にわかれて）

今まで行ったトレーニングから対人での練習となったのですが、周りを見る大切さを教えてもらったトレーニングでしたね。



中学校の監督と中学生にアドバイスと「ナイス」という励ましの声をうけながら刺激的で楽しくトレーニングできました。中学校年代ではボールを持っていないときの動きや周りを見て判断する力もつけていかないとならない中で、基礎的なボールを止める、蹴るということは大前提であることが分かったトレーニングでした。

#### ◇トレーニングマッチ

トレーニングマッチはせっかくの機会でしたので、VS中学生（高校生）でおこないました。初めは気おくれしていた選手たちでしたが、繰り返し行っていったことで何度もチャンスを作ることができました。ボールを回される時間が多かったですが、中学

生、高校生相手でもできたプレーはありましたのでさらに磨きをかけていければと思います。もちろん今まで小学生のチームとの違いやこれからの自分たちが進んでいく年代のプレーを肌で感じる事ができた良い機会になってと思います。得点ができず悔しい思いをこれからのトレーニングにぶつけてください。

最後にこのような機会を作っていただいた石川義塾中学校の野崎監督や選手のみなさんありがとうございました。貴重な経験をさせていただき感謝いたします。これからもぜひこのような機会をお願いいたします。

